

スマホ×カーナビ連携アプリ 「NaviCon」のご紹介



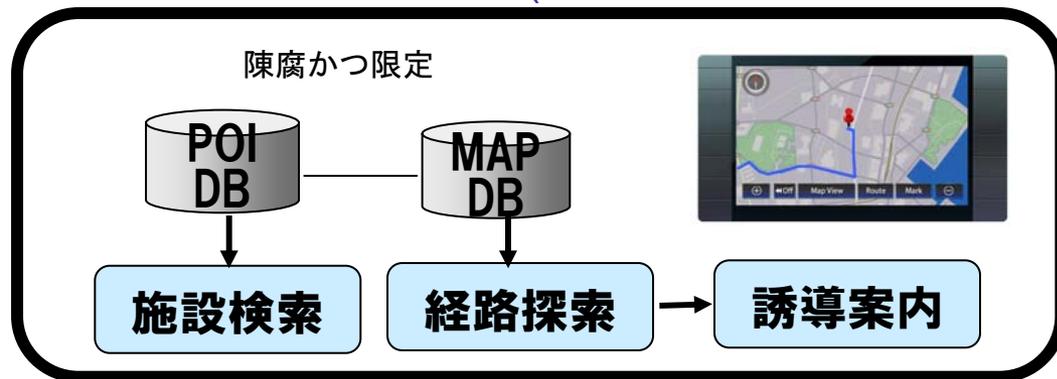
(株)デンソー 情報通信事業部 情報通信サービス開発室

1. 開発の背景：カーナビ機能の再分配

従来

全ての機能・コンテンツを
スタンドアロンで提供
→情報の鮮度と量に課題
→サービスのレベルに限界

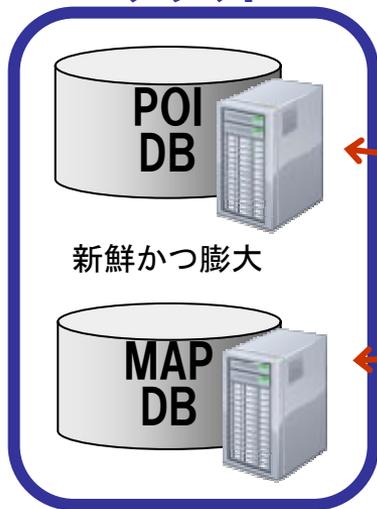
車載機(カーナビ)



今後

スマホを介してクラウドと繋ぐことで、ダイナミックで多彩なサービスを提供

クラウド

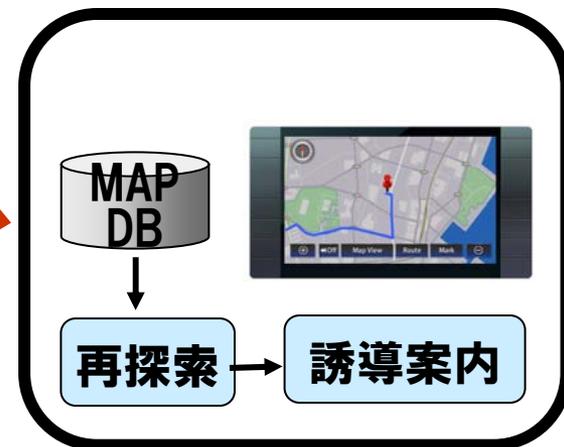


スマートフォン



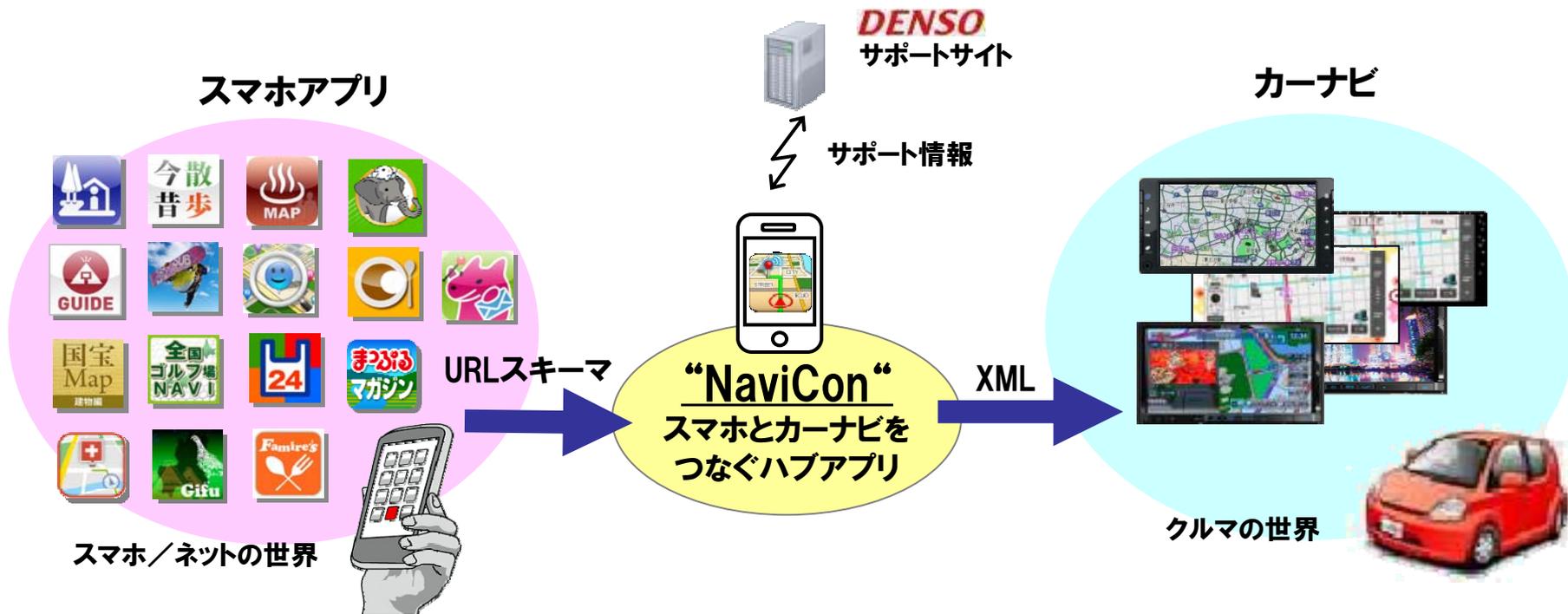
クルマに乗る前に必要な機能

車載機



運転中に必要な機能

カーナビとの通信およびスマホアプリとのAPIを標準化することで、スマホからカーナビに位置情報を転送するハブの役割をします。



スマホアプリで行き先を探す

70本を超えるアプリとWEBサイトが対応済み。(2012年4月現在)

ワンタッチで転送

3つの方法で位置情報の連携が可能。

- Bluetooth
- USB
- MAPCODE

カーナビで道案内

対応カーナビは拡大中。既存のカーナビでも利用可能。

(1) カーナビの地図をスマートフォンで遠隔操作(拡大/縮小、スクロール)



(2) 地図上の任意の地点や検索した地点を、カーナビの目的地として設定



(3) 標準の連絡先に登録された地点を、カーナビの目的地に設定



(4) 他のアプリケーションから通知された地点を、目的地として転送



(5) Webサイトに掲載された地点を、スマホのブラウザ経由で目的地として設定



Webブラウザ(Safari等)

POI情報のゲートウェイ

NaviCon対応カーナビ



(6) NaviConで選択した地点情報を、メールで知人に送信



(7) 予約サイト等からの施設情報を、メール経由で受け取る



4. アプリ連携の事例紹介

2つのアプリを連携



東山動植物園

開発:トヨタマップマスター 提供:中京テレビ放送

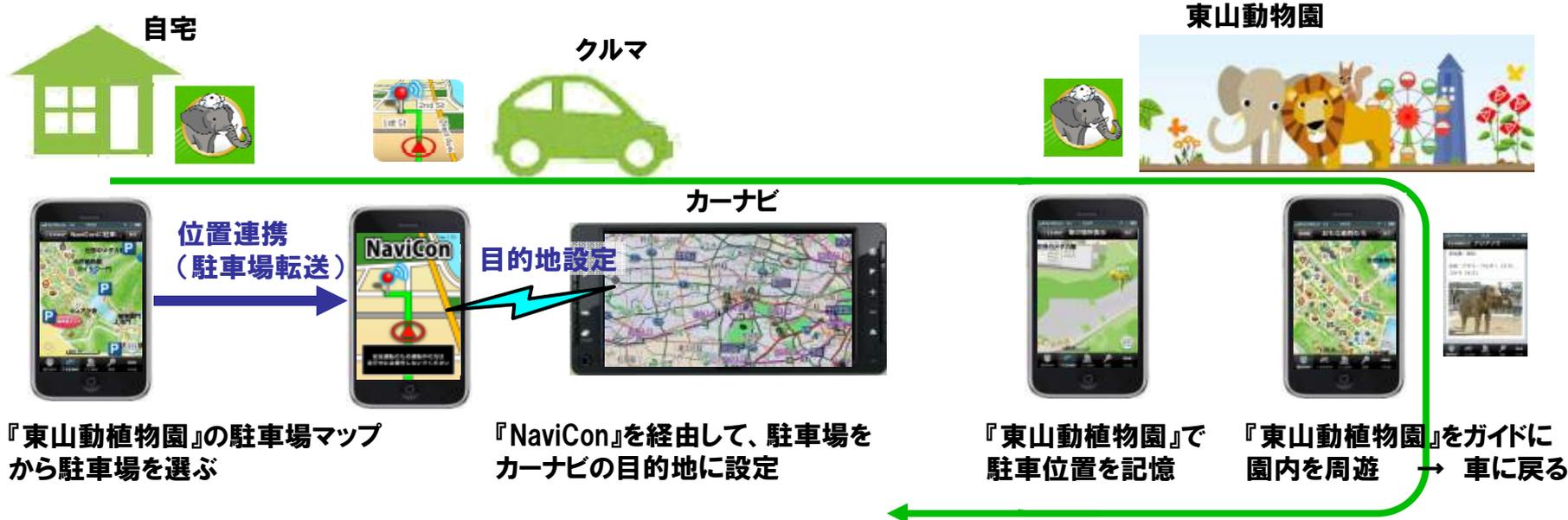
東山動物園のガイドアプリ。園内施設、詳細駐車場マップを掲載。



NaviCon

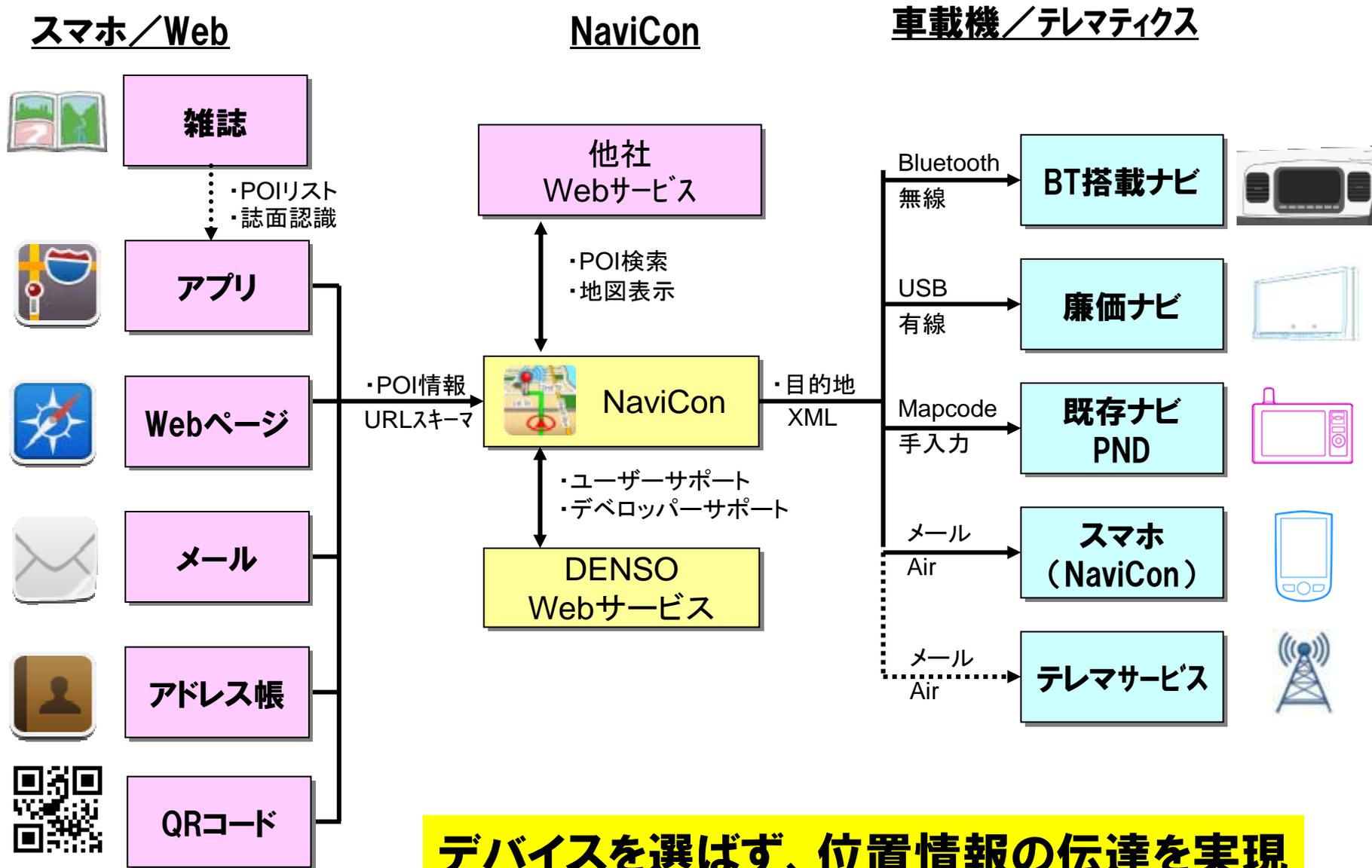
開発・提供:デンソー

スマホの位置情報をカーナビに転送するアプリ。



- ・カーナビでカバーしきれない施設固有の駐車場等の情報をアプリで補う
- ・カーナビとスマホアプリの組み合わせでトータルかつシームレスな案内を実現

5. 目指す姿：メディアを超えた位置情報の連携



デバイスを選ばず、位置情報の伝達を実現

詳細はWebで

<http://www.denso.co.jp/ja/products/aftermarket/info/navicon2/index.html>



ありがとうございました